

**地域の力を生かし地域に根ざした学校づくり****あわら市芦原中学校**

## 1 取り組みの概要

## (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

## (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	10人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他( )	0人

## (3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」
--------------

## 具体的活動内容

## 第1学年 福祉体験学習

## 1 目的

- ・体験学習や調査活動を通して、助け合いの精神を育て、自分に何ができるか考え、働きかけのできる生徒の育成を図る。
- ・地域の方と連携して福祉教育を行うことで、地域福祉の一助となる態度を育てる。

## 2 指導計画

- 道徳・・・「人に喜ばれることは自分の喜びである」  
 総合・・・障害者福祉に関するビデオ視聴  
 総合・・・あわら市の福祉について知ろう  
 総合・・・コースの説明を聞き、コースを選択する。  
 ～ 総合・・・コース別事前学習会  
 総合・・・コース別体験  
 総合・・・コース別まとめ新聞作成



## 3 体験学習コース

【高齢者福祉コース】 (老人福祉施設訪問)	・芦原メロン苑を訪問し、お年寄りとの交流を深めたり、施設の清掃作業を手伝ったりする。
【バリアフリーコース】 (車いす体験)	・高齢者福祉について学習し、体が不自由になるとはどのようなことかを実体験する。
【障害者福祉コース】 (知的障害者施設訪問)	・ハスの実の家(知的障害者就労施設)を訪問し、交流や体験学習を行う。
【視覚聴覚障害コース】 (点字・手話体験)	・知覚・聴覚障害について学んだ後、点字・手話を学習し、聴覚障害の方と手話で交流する。
【小学校訪問コース】 (読み聞かせ体験)	・本の読み聞かせについて学んだ後、芦原小学校を訪問し、読み聞かせ体験・児童との交流を行う。
【幼稚園訪問コース】 (読み聞かせ体験)	・本の読み聞かせについて学んだ後、芦原幼稚園を訪問し、読み聞かせ体験・園児との交流を行う。

## 成果と課題

登校途中の数名の女子生徒が、路上で倒れている障害者の方を発見し助けるなど、幼児やお年寄り等の他を思いやる気持ちが確実に育まれてきている。  
 1学年だけの取り組みでなく、1～3学年に渡った取り組みにしていかなければいけない。